



く せ ん 薫 泉

学校の目標
社会の変化に自ら対応でき、豊かな心を持ち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。
・よく考え、進んで学習する子ども
・いつも元気で、じょうぶな子ども
・こころ豊かで、やさしい子ども

笑顔でありがとうは人生の智慧

校長 井上 光広

二学期が始まります。一学期同様、学校の取組を工夫し、子どもたちが楽しく大きく成長できるように教職員一同努力してまいります。

夏休みを前にした七月二十日、本校の俳句教育をご指導してくださっている日本学校俳句研究会代表の小山正見先生とお電話をさせていただきました。小山先生の著書である俳句集「大花野」について、より多くの方に手に取っていただきたいという相談のためです。この「大花野」は小山先生の奥様のことを俳句にした句集となっています。奥様は二〇一一年に認知症を発症されました。年々、物忘れが進行し、家の中でも迷子となったり、洋服の着方が分からなくなったり。「大花野」のあとがきには、次のように書かれています。

「私は事態の伸展に困惑し、為す術がなかった。本句集「大花野」は、そんな私の右往左往の様を綴ったものである。(中略)病気が進んでも、妻は『あなたのはあるの?』といつも私を気遣ってくれた。この年まで楽しく暮らしてきた、存分に生きた。妻に感謝している。深く愛している。」

小山先生との会話の中で、どうしても皆さんに伝えておきたいと私が強く感じたことがあります。それは次のような小山先生の言葉です。

「妻は今、グループホームに入所して、介護してもらっているのだけれど、認知症になっても笑顔で『ありがとう』という感謝の言葉を言うんだよ。そのことが介護者にも喜びを与えて、ホームの中



でも、とても愛されている存在になつてから認知症になつてからもう長いことができるというの、認知症になる前の長い人生の中で、ずっとそうしてきたからこそできることなんだと私は感じている。これは人生の智慧と言えるんじゃないかな。」

大変示唆に富んだお話だと感じました。ありがたいことに、私たちはこのような先生から俳句の指導を受けているのです。

さて、九月九日(土)の体育・健康地区公開講座では、六年生と希望された保護者の方々を対象に「認知症サポーター養成講座」を行います。この講座を担当してくださるのは、新しくできたカムカム新蒲田内にある新蒲田包括支援センター連の方々です。一つの学年全員が「認知症サポーター養成講座」を受けるのは大田区の小学校では初めてのことで聞いております。小学生のやわらか頭のうちに、認知症についての知識を得ることが、きっと大きな心の財産になると確信し、この講座を開催することにしました。

【お知らせ】

◎PTA「星空映画会」を九月九日(土)に開催します。今回は、矢口渡商店街の各店舗様にもご協力をいただき、PTAで発行する金券で子どもたちが買い物をして、映画会に参加するという地域連携行事ともなっています。

◎夏季休業日中に東側校舎(二、三、六年生教室側)の空調機交換工事をしました。これで快適な学習環境を整えることができました。

◎十月一日(日)に四町会対抗運動会があります。

◎十月六日(金)七日(土)に矢口文化芸術劇場(学芸会)を開催します。七日(土)は保護者鑑賞日です。どうぞ楽しみにご予約ください。

九月の生活目標

生活指導部

落ちついた生活をしよう
長い夏休みが終わりました。有意義に時間を使い充実した日々を送れたでしょうか。いよいよ二学期の始まりです。残暑という言葉があるように九月に入っても、夏のような暑さが続きます。油断をせずに熱中症対策のためのこまめな水分補給や汗ふきなどを続けてください。

学校生活が始まり、家庭中心の生活から環境が変わったことで、気持ちになんとなく落ち着かない人もいるのではないのでしょうか。落ち着いた生活をするために、いつもと変わらない規則正しい生活を行うことが大切です。また、ゲームやYouTubeは気分転換になりますが、やりすぎたり見すぎたりすると、目や脳が疲れてしまい、さらに気持ちがいらいらすることもあります。時間を決めて行うことも大切です。「早寝早起き朝ごはん」を基本に、健やかな体と元気な心で落ち着いて学校生活を過ごせるようにしていきます。

俳句指導について

研究推進部俳句教育担当

昨年度に引き続き、本校では、芸術分野の教育として俳句作りに取り組んでいます。日本学校俳句研究会より講師の先生をお招きし、新しく矢口小に來られた先生の学級を中心に授業を行っていただきました。俳句は日本の伝統的な言語文化であるだけでなく、発見する力、豊かな心を培うための絶好の学習材です。昨年度は学習のまとめとして、「第六回おおた俳句大会」に応募し、九十一句もの俳句が佳作以上の賞をいただき、さらには全体で一句のみの大賞も受賞するなど素晴らしい結果となりました。また、学習のまとめを五・七・五の短い言葉でまとめるなど、俳句作りで得た技能を他の学習にも生かしています。自分の思いを表現したり、友達や自分のよさを認め合ったりと、俳句作りを通して子どもたちの輝く場面を増やしていきます。